

今だから知りたい 西郷さん

薩摩が生んだ

来年はいよいよ明治維新150周年。来年1月からは大河ドラマ『西郷どん』の放送も始まります。

大河ドラマの放送を前に、今なお、鹿児島のみならず日本中の人々に愛される『西郷さん』の生涯を、あらためてひもときます。

功績① 薩長同盟

1866年1月21日、京都の小松帯刀邸において、坂本龍馬の仲介で、薩摩藩は小松、西郷、大久保らが、長州藩は木戸孝允が出席し、幕府による長州藩の処分問題にあたり、薩摩が長州を支援する内容の密約を結びました。これ以降、対立していた両藩の連携関係が深まり、倒幕、明治維新へ動き出します。

盟友 大久保利通

高麗町で生まれ、まもなく下加治屋町に移り住み、西郷と一緒に郷中教育を受け育った盟友。ともに維新期をめぐるし、政治に指導的な役割を果たしましたが、朝鮮半島への使節派遣をめぐる二人は対立。その後の西南戦争でも敵味方として戦いました。

崇拜 島津斉彬

集成館事業を進め、薩摩の近代化を図った名君。「私でなければ使いこなせない」と西郷を引き立て、信頼して仕事を任せました。西郷にとって斉彬との出会いは一大転機となりました。



大久保利通銅像



島津斉彬銅像



西郷隆盛肖像(県立図書館蔵)

西郷隆盛関連年表	
1827年	下加治屋町に生まれる
1830年	大久保利通生まれる
1844年	藩の郡方書役助になる
1851年	島津斉彬が薩摩藩主となる
1852年	スガと結婚 祖父 龍右衛門、父 吉兵衛 母 マサが相次いで死去
1854年	島津斉彬の参勤交代に従い江戸へ
1856年	篤姫が13代将軍徳川家定と結婚
1858年	島津斉彬死去 安政の大獄 月照とともに錦江湾へ入水。西郷のみ助かる
1859年	奄美大島へ 愛加那と結婚
1861年	長男 菊次郎が生まれる
1862年	寺田屋騒動 鹿児島へ帰るも、再び沖永良部島へ遠島処分 生麦事件

西郷家の人々を 紹介します



西郷隆盛研究者 安川 あかねさん

厳しくも温かい薩摩の女性

「貧乏は恥ずかしい事ではない。恥ずかしいのは貧乏に負けることだ。」と言って西郷らを育てた母のマサ。そんな薩摩の女性と薩摩の風土が西郷さんの人柄を育てたのだと思います。

エピソード② 「おみそ汁」

明治初期、弟の従道の家で世話になっていた頃、みそを入れ忘れてしまったおみそ汁だったにも関わらず、西郷さんはそれを食べて「おいしかったよ」と家の人に声をかけた。それを聞いた従道は「兄にはかなわない」と言ったという話があります。(安川さん談)



西郷従道(国立国会図書館蔵)

西南戦争では政府軍に加わり、兄 隆盛と袂を分けました。その後、海軍大臣、内務大臣を務めました。



西郷糸子(県立図書館蔵)

坂本龍馬を泊めたとき、雨漏りを心配したイトに、隆盛は「今、日本中が雨漏りしている」と語ったといわれるほど貧しかった西郷家を切り盛りしました。

西郷隆盛生誕の地(加治屋町)

